

- 「いのち育む豊かな湿地」(佐賀県唐津市、アザメの会)が令和6年度手づくり郷土賞(大賞部門)を受賞
- 令和7年2月26日(水)唐津市役所でアザメの会(活動団体)に対して、森田康夫局長より国土交通大臣認定証・盾を伝達

地域活動団体:特定非営利活動法人 アザメの会 / 社会資本管理団体:九州地方整備局 武雄河川事務所

R7.2.26

■案件名:いのち育む豊かな湿地(佐賀県唐津市)



■森田康夫局長よりお祝いの言葉

○アザメの会の皆様には、アザメの瀨自然再生事業に計画段階から参画いただき、現在は管理の一部も担っていただいている。自然環境教室や水防災教育など新たな活動に取り組み、次世代を担う子供達に「命の大切さ」「自然の大事さ」を伝えるという、皆様の強い想いが評価されたものだと確信しています。
ぜひ、この素晴らしい活動を継続、発展していただきたい。

■手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、**良質な社会資本**及びそれと関わりをもつ**優れた地域活動**を広く**募集・発掘**し、これらを全国に広く紹介することにより、**個性あふれ活力ある郷土づくり**に資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。令和6年度で39回目。

【一般部門】 はじめて受賞する団体を対象とした部門 【大賞部門】 過去に受賞した団体で、その後の活動が発展している団体を対象とした部門

■活動内容

アザメの瀨は、洪水時には川の水を一時的に貯める機能をもつとともに、氾濫原生生態系の回復を目標として整備されました。
自然環境再生への一助となるべく平成14年に「アザメの会」発足。活動が広く知られ、毎年海外も含め多くの団体が視察に訪れ、視察者からは好評を得ている。訪問者が多いことで、活動にも力が入り、良好な自然環境が維持されている。
地元の相知小学校との連携は22年間継続。3年生から6年生を対象に水生生物調査、自然環境観察、学習田での田植え、魚取り等、年間6回120名程度参加の取り組みが学校行事としても定着。令和4年度からは、収穫した米を唐津市を通じて「子供食堂」にも寄贈、令和5年度からは、アザメの瀨を活用した防災教育も開始、地元小学校との交流は地域の活力にもなっている。 ※一般部門受賞:平成26年度